

公益財団法人 日本サッカー協会
2020年度 第10回理事会

2020年9月10日

報告事項

1. 47都道府県サッカー協会選出副会長の件

8月22日に行われた都道府県サッカー協会代表者会議において47都道府県サッカー協会選出の副会長の選任をJFA会長に一任されたことを受け、以下の者を選任した。

- ・林 義規（はやし よしのり）副会長（公益財団法人東京都サッカー協会会長）

2. JFAアジア貢献事業 指導者海外派遣（継続）の件

アジア貢献事業の一環として海外に派遣している指導者1名をベトナムサッカー連盟（VFF）の要請により契約を更に1年更新する。

(1) JFAアジア貢献事業 ベトナムサッカー連盟／女子サッカー統括

氏名：井尻 明（いじり あきら）

保有資格：JFA公認S級コーチ

派遣期間：2021年2月1日～2022年1月31日

VFFの費用負担：給与、住居費、国内移動費、国際航空券代

JFAの費用負担：給与、海外保険料

3. 天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会 決勝会場、公式検査、VAR、レプリカトロフィーの件

天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会の決勝会場、公式検査、ビデオアシスタントレフェリー（VAR）、レプリカトロフィーについて、以下の通りとする。

1. 決勝会場

決勝を以下の通り、開催する。

開催日程：2021年1月1日（金・祝）

決勝会場：国立競技場（東京）

天皇杯決勝の国立競技場での開催は、前回に続いての開催となり、通算49度目

（参考：第93回～第99回決勝会場）

第99回大会	国立競技場（東京）
第98回大会	埼玉スタジアム2002（埼玉）
第97回大会	埼玉スタジアム2002（埼玉）
第96回大会	市立吹田サッカースタジアム（大阪）
第95回大会	味の素スタジアム（東京）
第94回大会	日産スタジアム（神奈川）
第93回大会	国立競技場（東京）

2. 公式検査

第100回天皇杯において公式検査（PCR検査、もしくは医学委員会が認めるその他の検査手法）を導入する。

公式検査を受けたチーム同士の対戦となり、選手、チーム役員が安心して試合に臨めるよう

にすることを目的とする。

公式検査により、陰性判定を受けた選手、チーム役員だけが、準々決勝、準決勝、決勝において試合エントリーすることができる。

〔検査実施日〕 準々決勝前に1回実施

※ 現在、公式検査委託先選定中につき、検査から判定までの所要日数、時間を考慮し、5回戦進出4チームを対象とする可能性がある。(後日決定)

〔対象チーム〕 アマチュアチーム

※ J1、J2、J3チームについては、直近のJリーグ公式検査により代えることとする。
(直近のJリーグ公式検査により陰性判定を受けていれば、公式検査完了とする)

※ 対象は、各チーム50名程度を想定

※ JFA、主管協会等の関係団体の競技運営主要メンバーも対象

3. VAR

第100回天皇杯準決勝、決勝においてVARの導入を予定していたが、以下の理由により導入を見合わせる。

理由1：選手の適応

大会方式の変更により、J1以外(J2、J3、47都道府県代表チーム)の勝ち上がりが想定され、VARに対して選手が円滑に適応できるかが危惧されるため。

理由2：審判員の準備状況

Jリーグでは、今シーズン再開後からVARを取りやめ、審判員は半年以上実践が積めない状況となっている。また、過密スケジュールの中で十分なVARトレーニング計画の見通しが立たない状況となっており、十分なコンディションを整えられるかが危惧されるため。

4. 天皇杯レプリカトロフィー

第100回大会より天皇杯レプリカトロフィーを製作、運用する。

これまで天皇杯については返還後レプリカトロフィーを贈呈していなかったが、天皇杯優勝の栄誉を称えるとともに優勝の証をチームが保持し続けるため、以下の通りとする。

本体：真鍮製(サイズ調整中)

数量：1基/優勝1回につき

費用負担：JFA負担

設定条件：実物と見分けられるようにするため、レプリカの仕様を設定する

※ 優勝チームは、レプリカの複製配布・販売等の商業行為をすることはできない

※ 第99回大会以前の優勝チームが製作を希望する場合は、費用自己負担により優勝1回につき1基製作することができることとする

※ 宮内庁に申請、許可を受け、運用開始となるため、今後修正の可能性あり

4. 2020/2021年度 Associate-Pro (A-Pro) コーチ養成講習会の受講者の件

(報告)資料1

2020/2021年度 Associate-Pro (A-Pro) コーチ養成講習会受講者について、別紙13名を決定した。

5. 2020/2021年フットサル競技規則の適用開始日の件

(報告)資料2

6月に報告したフットサル競技規則改正について、適用日を添付の通りとする。
(各リーグ等の開幕/再開日が発表されたことによる)

6. SDGsの達成に向けた今後の取り組みの件

国連「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成のため、サッカー界全体の取り組みが促進されるよう、以下の通り、事務局を中心に推進する。

(1) SDGs チームの設置

SDGs 推進のためのプロジェクトとして、「SDGs チーム」を事務局内に設置した。メンバーは、事務局内関連部署職員及び播戸竜二氏（元サッカー日本代表・JFA アスリート委員会委員）により構成し、今後、社会貢献委員会と連携しながら各種施策に関する企画の立案から実行までを行っていく。

(2) 事務局内への SDGs 浸透施策の実施

① 役職員研修の実施

9月9日に常勤の役職員を対象としてSDGs研修を実施。社会貢献委員会の国谷裕子委員よりSDGsの概要（成り立ちや最新の情報など）について講義を実施。

② メールマガジンの配信

9月中旬からメールマガジンを配信。SDGsをより深く知ることで、社会課題を身近に感じ、日々の事業や行動に反映されていくことを目指す。

なお、研修内容及びメールマガジンの配信については、SDGs推進の重要な主体となる47都道府県サッカー協会事務局にも展開する。

上記のほか、SDGsに関連する各種JFA事業については、SNS等の各種オウンドメディアをはじめ、各種メディアを通じて外部に随時発信を行っていく。

(3) 環境保護に向けた各種取組（ロゴマークと環境に配慮した製品の制作）

環境保護への取り組みを周知する目的で環境省のガイドライン等に基づく「環境に優しいことを示すオリジナルマーク」を制作。今後は、日本代表オフィシャルグッズ等の制作にあたって、環境への負荷が少ない材料の使用を推進し、材料の使用割合が基準を満たしたもの等を環境に配慮した製品として認定し本マークを表示。

環境へ配慮したオフィシャルグッズ第1弾として、来年、「日本代表オフィシャルエコバッグ」、JFA STORE（日本サッカー協会 オフィシャルストア）にて発売予定

7. AFC理事会（7月23日開催）の件

AFC理事会が2020年7月23日（木）にオンライン上で行われた。主な決定・報告事項は以下の通り。

- ・ AFCの商業権保護に向けた独立ワーキンググループ設置を承認。
- ・ 第30回AFC総会は2020年12月9日（水）にオンライン上で開催することを決定。

8. 国際委員退任の件

以下の国際委員より辞任の申し出があったため受理した。

国際委員会

氏名：中島勇一郎(ナカジマ ユウイチロウ)

クリムゾンフィーニクス(株)代表取締役マネージング・ディレクター

退任日：2020年9月10日

9. アドバイザリーボードメンバー退任の件

以下のアドバイザリーボードメンバーより辞任の申し出があったため受理した。

アドバイザリーボードメンバー

氏名：中島勇一郎(ナカジマ ユウイチロウ)

退任日：2020年9月10日

10. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）の件**【更新】**

申請者（施設所有者）：公益社団法人福岡県サッカー協会

施設名：福岡フットボールセンターBピッチ（福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭1-2-16）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ ET-62

公認期間：2020年6月8日～2023年6月7日

公認番号：第059号

申請者（施設所有者）：伊勢市

施設名：伊勢フットボールヴィレッジ Cピッチ（三重県伊勢市朝熊町4383番426）

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ XXP-62

公認期間：2020年9月14日～2023年9月13日

公認番号：第060号

申請者（施設所有者）：公益社団法人岩手県サッカー協会

施設名：岩手県フットボールセンター（岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目1-1）

使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ PT2065RS+

公認期間：2020年7月17日～2021年7月16日

公認番号：第112号

申請者（施設所有者）：佐賀県

施設名：SAGA サンライズパーク球技場 北コート（岩佐賀県佐賀市日の出2丁目143番）

使用製品：コウフ・フィールド株式会社 Desso iDNA X 60-16-VU

公認期間：2020年7月13日～2023年7月12日

公認番号：第199号

申請者（施設所有者）：佐賀県

施設名：SAGA サンライズパーク球技場 南コート（岩佐賀県佐賀市日の出2丁目143番）

使用製品：美津濃株式会社 グラングラス PT65U

公認期間：2020年7月13日～2023年7月12日

公認番号：第200号

申請者（施設所有者）：和歌山県

施設名：和歌山県立和歌山北高等学校西校舎グラウンド（和歌山県和歌山市西庄1148-1）

使用製品：泉州敷物株式会社 セーフティターフ MFmax-I ep

公認期間：2020年7月13日～2023年7月12日

公認番号：第203号

<特記事項>

使用製品はJFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。
当該施設はJFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

11. JFA サッカー施設整備助成事業の件

「JFA サッカー施設整備助成金 交付要項」に基づき、助成金交付要望のあった次の案件について、審査し交付を決定した。

[申請概要]

1. 鳥取県

- (1) 申請者：米子市
- (2) 申請区分：[助成区分2] 地区サッカー施設整備助成事業
- (3) 助成対象事業：クラブハウス（新設）
- (4) 施設名：米子市弓浜コミュニティー広場
- (5) 計画地：米子市大篠津町1433番地
- (6) 総事業費：29,524千円
- (7) 助成金申請額：14,762千円
- (8) 工期予定：2020年6月～2020年9月
- (9) 交付決定日：2020年6月1日

2. 広島県

- (1) 申請者：府中町
- (2) 申請区分：[助成区分2] 地区サッカー場施設整備助成事業
- (3) 助成対象事業：人工芝グラウンド（新設）
- (4) 施設名：府中町揚倉山健康運動公園
- (5) 計画地：広島県安芸郡府中町山田五丁目5番1号
- (6) 総事業費：74,629千円
- (7) 助成金申請額：20,000千円
- (8) 工期予定：2020年7月～2021年2月

(9) 交付決定日：2020年7月7日

3. 香川県

(1) 申請者：香川県

(2) 申請区分：[助成区分2] 地区サッカー施設整備助成事業

(3) 助成対象事業：天然芝グラウンド（改修）*2面

(4) 施設名：香川県総合運動公園サッカー・ラグビー場

(5) 計画地：香川県生島町614番地

(6) 総事業費：70,831千円

(7) 助成金申請額：30,000千円

(8) 工期予定：2020年10月～2021年2月

(9) 交付決定日：2020年7月8日

4. 沖縄県

(1) 申請者：八重瀬町

(2) 申請区分：[助成区分2] 地区サッカー施設整備助成事業

(3) 助成対象事業：天然芝グラウンド（改修）

(4) 施設名：東風平運動公園サッカー場

(5) 計画地：沖縄県八重瀬町字東風平1136番地2

(6) 総事業費：22,000千円

(7) 助成金申請額：15,000千円

(8) 工期予定：2020年9月～2020年12月

(9) 交付決定日：2020年8月7日

5. 長崎県

(1) 申請者：島原市

(2) 申請区分：[助成区分3] 施設改修助成事業

(3) 助成対象事業：人工芝グラウンド（改修）

(4) 施設名：島原市宮平成町人工芝グラウンド

(5) 計画地：長崎県島原市平成町1-1

(6) 総事業費：127,377千円

(7) 助成金申請額：30,000千円

(8) 工期予定：2020年10月～2021年2月

(9) 交付決定日：2020年8月21日

6. 岩手県

(1) 申請者：盛岡市

(2) 申請区分：[助成区分2] 地区サッカー施設整備助成事業

(3) 助成対象事業：夜間照明（新設）

(4) 施設名：盛岡南公園球技場

(5) 計画地：岩手県盛岡市永井8地割65番地

(6) 総事業費：692,916千円

(7) 助成金申請額：15,000千円

(8) 工期予定：2020年9月～2021年2月

(9) 交付決定日：2020年8月27日

12. JFA・Jリーグ特別指定選手制度の件

- (1) 選手名：三國 スティビアエブス（みくに すていびあえぶす）
 所属チーム：順天堂大学蹴球部
 受入先：水戸ホーリーホック
 所属歴：野火止サッカー同好会、東京 NOBIDOME FC、青森山田中学校、青森山田高校
 認定日：2020年7月7日
- (2) 選手名：小柏 剛（おがしわ つよし）
 所属チーム：明治大学体育会サッカー部
 受入先：北海道コンサドーレ札幌
 所属歴：中居キッカーズ、高崎ドリームズ中川、ファナティコス、大宮アルディージャ
 ジュニアユース、大宮アルディージャユース
 認定日：2020年7月21日
- (3) 選手名：上原 牧人（うえはら まきと）
 所属チーム：城西国際大学体育会サッカー部
 受入先：FC琉球
 所属歴：高良フットボールクラブ、小祿中学校、那覇西高等学校サッカー部
 認定日：2020年7月21日
- (4) 選手名：西野 太陽（にしの たいよう）
 所属チーム：京都橘高等学校男子サッカー部
 受入先：徳島ヴォルティス
 所属歴：西田宮ビクトリーサッカー少年団、徳島ヴォルティスジュニアユース
 認定日：2020年8月4日

13. JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー認定の件

下記の団体を「JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー」として新たに認定した。

※（ ）内は、主な活動場所／賛同テーマ

認定日：2020年3月13日

- 1) 須崎市サッカー協会（長野県／引退なし・補欠ゼロ）
- 2) 特定非営利活動法人スフィーダ（東京都世田谷区／障がい者サッカー・女子サッカー・社会課題への取り組み）

認定日：2020年3月31日

- 1) 特定非営利活動法人野田市総合型地域スポーツクラブ（千葉県野田市／補欠ゼロ・障がい者サッカー・女子サッカー・社会課題への取り組み）
- 2) LingFC 依知（神奈川県厚木市／補欠ゼロ）
- 3) 特定非営利活動法人 CREATIVO 小美玉（茨城県小美玉市／補欠ゼロ・施設の確保）

認定日：2020年4月15日

- 1) スポーツマネジメント株式会社（東京都渋谷区／引退なし・補欠ゼロ）
- 2) 鈴ヶ森キッカーズ（東京都品川区／補欠ゼロ・女子サッカー）

3) ゴラッソ高崎 FC (群馬県高崎市／補欠ゼロ)

認定日：2020年5月1日

1) 一般社団法人伊勢原 FC フォレスト (神奈川県伊勢原市／補欠ゼロ)

認定日：2020年5月18日

1) 株式会社はさき Soccer Life (茨城県神栖市／引退なし・補欠ゼロ)

2) 特定非営利活動法人アクティブスポーツ (神奈川県相模原市南区／障がい者サッカー)

3) FC・入間ゴールズ (埼玉県入間市／障がい者サッカー)

14. なでしこジャパン海外強化指定選手制度の件

「なでしこジャパン海外強化指定選手」を下記の通り新規に認定した。

(1) 選手プロフィール

氏名： 靱木 結花 (もみき ゆうか)

所属チーム： OL Reign (NWSL・アメリカ女子1部リーグ)

Linkoping FC (Damallsvenskan・スウェーデン女子1部リーグ)

※8月9日～11月17日：スウェーデンへ期限付き移籍

生年月日： 1996/04/09 24歳

身長/体重： 153cm / 50kg

ポジション： MF

国際Aマッチ出場数： 33試合 10得点

※キャップ数は2020年8月31日時点

(2) 認定期間 2020シーズン (契約期間：2020年5月18日～2020年12月31日)

15. サッカー競技規則第3条暫定的改正の継続の件

(報告) 資料3

サッカー競技規則について、2020年7月15日に国際サッカー評議会(以下、IFAB)から「2020年5月8日付で通達された「第3条への暫定的改正」の適用を、2020年内に終了予定の競技会から、2021年の定められた時期に終了また予定する競技会においても適用できる」旨の通達があった。

別紙の通り、日本サッカー協会として通達を発信した。

16. 名義使用申請の件

申請団体： 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 (JBFA)

行事名称： ～ブラインドサッカーを未来へつなごう～

アクサ×KPMG ブラインドサッカー2020カップ

場所： Jグリーン堺 (大阪府堺市) / フットサルドーム PIVOX 広島 (広島県広島市) /

本庄市若泉運動公園 (埼玉県) / 常総運動公園 (茨城県守谷市) /

品川区立天王洲公園 (東京都) 等

開催日： 2020年10月4日(日)～11月14日(土)

※1stラウンドのみ決定／準決勝・決勝ラウンドは2021年1-2月に開催予定

主催： 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会（JBFA）
 特別協賛： AXA グループ／KPMG ジャパン
 協賛： 未定
 後援： 厚生労働省／スポーツ庁／
 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会／
 公益財団法人日本サッカー協会／一般社団法人日本障がい者サッカー連盟／
 東京都／品川区／守谷市／守谷市教育委員会／堺市／広島市／本庄市
 目的： ブラインドサッカー日本一を決定し、また、各チームの技術向上ならびに
 障がい者スポーツ推進に寄与する。
 内容： 【1st ラウンド】2-4 チームによるトーナメントまたは総当たり×5 会場
 【準決勝ラウンド】各 1st ラウンド 1 位の 5 チームとワイルドカードの
 3 チームの計 8 チームを 2 会場に分けた 4 チームによる
 トーナメント
 【決勝ラウンド】各準決勝ラウンド 1 位のチーム同士で決勝戦、2 位のチーム
 同士で 3 位決定戦を実施

申請団体： 株式会社コングレ
 行事名称： スポーツビジネスジャパン 2020 オンライン
 場所： オンライン開催
 事業期間： 2020 年 10 月 6 日～2020 年 10 月 30 日
 主催： 日本スポーツ産業学会、株式会社コングレ
 後援： （一社）Entertainment Committee for STADIUM・ARENA、スポーツ庁、
 （一社）トップリグ連盟機構、（公財）日本サッカー協会、
 （公社）日本プロサッカーリーグ、（公財）日本バスケットボール協会、
 （一社）バスケットボール女子日本リーグ、（一社）T リグ、
 （一社）日本バレーボールリーグ機構、（一社）日本 e スポーツ連合、
 （公財）日本体育施設協会、（公社）全国大学体育連合、
 （一社）大学スポーツ協会、（一社）日本スポーツアナリスト協会、
 （公社）日本建築家協会、（一社）新経済連盟、（特非）日本 PFI・PPP 協会、
 （一財）自治体国際化協会

行事の目的： ①スポーツビジネスにおける NewNormal な世界へ
 これまでのビジネスや生活様式から一変した、NewNormal/ニューノーマル（新
 常態）のヒントを得る。
 ②デジタルトランスフォーメーションの可能性を再定義
 コロナ禍で遅れていた分野のデジタルトランスフォーメーション（DX）も急速
 に進展。政府も社会全体の DX を加速する好機とし、データ利活用などを進めて
 いく方針を発表している。スポーツ界でもますます進むデジタル変革で、未来
 の姿を議論する。
 ③全国からの参加者に広くアプローチ
 「場所」「時間」を選ばないオンライン開催の利点を生かし、今まで参加が
 できなかった全国各地の参加者へアプローチする。

行事の内容：①国内のみならず海外からの出展社により構成される展示会

オンライン展示会：10月6日（火）～10月30日（金）

②国内外のキーパーソンによるコンファレンス

2日間で約20セッションを予定

コンファレンス Live 配信：10月6日（火）～10月7日（水）

アーカイブ配信：動画編集完了後公開～10月30日（金）